

工業「繊維製品」(選択科目)	単位数	2単位
	学科・学年	繊維科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 生活に必要な繊維の二次製品についての種類、製造、デザイン、管理などのあらしと流通に関する事柄を学び、繊維工業に関する理解をいっそう深める。
使用教科書・副教材等	新版テキスタイル製品 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 疇
1 学期	1 繊維二次製品 2 新素材	4	・主な繊維二次製品について学習する。	中間
		5	・主な繊維二次製品や取り扱いの規格について学習する。	
		6	・取り扱いの規格について学習する。	期末
		7	・新素材誕生の背景について学習する。	
2 学期	3 複合材料 4 消費者の行動とマーケティング 5 消費者調査 6 製品の企画と開発 7 衣料品などの製造	8	・新素材の用途について学習する。	中間
		9	・新素材の用途について学習する。	
		10	・複合材料の定義・特徴・使われ方について学習する。	
		11	・消費者の行動と商品購入、消費者調査について学習する。	期末
		12	・販売戦略の立案、情報収集と分析について学習する。	
3 学期	8 アパレル業界の流通 9 衣料品などの消費	1	・生産管理、生産能率、工程分析について学習する。	学年末
		2	・流通、衣料品の性能劣化などについて学習する。	

(2) 評価の観点及び内容 複合材料の定義と、特徴について学習する。

関心・意欲・態度	・素材について関心を持ち、新たな知識を身に付けようとしているか。 ・生産管理について興味を持って取り組めるか。
思考・判断・表現	・自ら問題をつくり、学習を進めることができるか。 ・主な繊維二次製品や取り扱いの規格について JIS 規格を活用して基本的知識を身に付け、その成果を的確に表現しているか。
技 能	・主な繊維二次製品や取り扱いの規格について JIS 規格を活用して基本的技能を身に付けているか。
知 識 ・ 理 解	・繊維及び繊維製品に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会や生活文化におけるその意義や役割を幅広く理解しているか。
<p>・成績評価は、定期考査を基本として、上記4つの観点を含めた平常の学習活動・学習態度・ノート・プリント・課題などの提出物、小テスト、出席状況などにより総合的に評価する。</p> <p>・学年末の成績は、第1・2・3学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。</p>	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・基礎的、基本的な内容については教科書中心となりますが、扱う分野には、新素材・マーケティングなど、進化・発展性のあるものが多く、授業では新聞記事の切り抜きを配ったり、インターネット等による情報を提供したりします。参考にしてください。また、身の回りの製品の素材についても普段から興味・関心を持ち、調べて得た知識を学習に役立てるよう心掛けましょう。